

SKI BUSINESS LETTER

株主・投資家の皆様へ

2014年10月1日から2015年9月30日まで

「お客様視点」で、
事業を多角的に拡大・推進する
エスケイグループ。

移動体通信事業

携帯電話通信機器の
販売サービス拠点

保険代理店事業

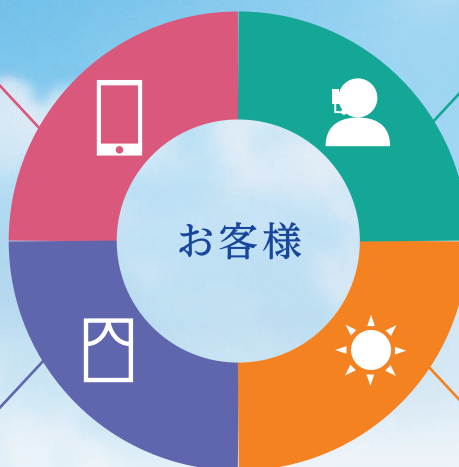
医療保険提案

葬祭事業

葬儀・法要

太陽光発電事業

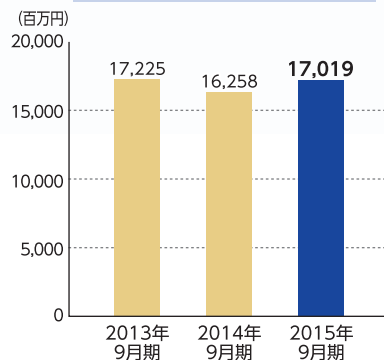
発電電力の売電



売上高

17,019百万円

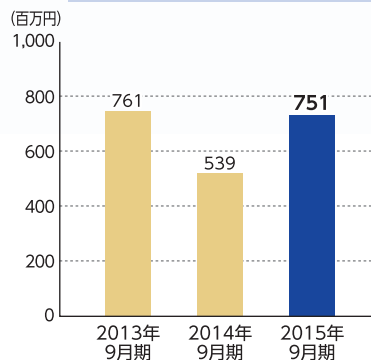
4.7%増



営業利益

751百万円

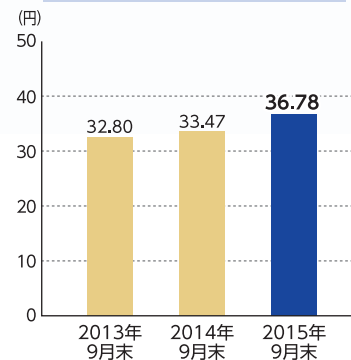
39.3%増



1株当たりの当期純利益

36円78銭

9.9%増



各事業で地道に企業基盤の強化を図り、 増収増益を実現。 株主配当も、増配へ。

SKIグループでは、ご承知の通り、「移動体通信事業」「保険代理店事業」「葬祭事業」を展開してまいりましたが、24期より、将来を見据えて「太陽光発電事業」に参入。先行きの見通しにくい時代のなかで、活路を開き、将来の安定的な成長力のエンジンに据えるべく力を入れてまいりました。

また、他の事業についても、不断の努力の積み重ねにより昨期は増収増益を達成。株主の皆様への増配を実現するに至っております。当グループの25期のレビューと今後の展望をお伝えしてまいります。

【移動体通信事業】

社員一人ひとりのサービス力向上で 顧客満足度をアップ。

当グループの基幹事業となる移動体通信事業は、依然としてスマートフォンの販売台数が継続的な拡大を見せています。その一方で、各キャリアとも端末の販売だけに頼らない新たな活路を見出そうとしています。

たとえば、ロボット、電力と通信のセット販売、保険商品など多様な商品が店頭に並ぶことになりそうです。

こうした傾向は、今後とも拡大していくものと見ております。ここで求められるのは、接客時の多彩な商品知識、サービス品質の向上です。

当グループでは、かねてより、従業員の教育研修に力を注いでまいりましたが、各キャリアが実施する全国代理店の格付け

代表取締役社長
酒井昌也



TOP MESSAGE

においても、当社はずねにもっとも高い評価をいただいております。

顧客満足度の地道な積み上げ、およびキャリアの求める施策に力を入れた結果、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

今後とも販売代理店の淘汰が進むであろうと思われるなか、当社の積み上げた力を生かし、SIMフリーの義務化に伴う併売店の出店をはじめとする新時代にふさわしい店舗展開を進め、事業基盤の強化を図る所存です。

【太陽光発電事業】

着々と進む発電所建設の全国展開。
新たな収益の柱へ。

太陽光発電事業については、昨期までに2基の発電所が稼働しており、その他、和歌山、広島、三重、埼玉などで発電所が着工、準備中です。すべての発電所が完成した時点での



エスケーアイ岡崎発電所

総発電量は40MWを見込んでいます。

太陽光発電は、政府が震災・原発問題に対応して、積極的な支援を表明しており、また太陽光をはじめとするクリーンエネルギーへの投資は世界的な潮流になっているといっても過言ではありません。

また、当社では百数十億の資金を、この事業に投じてまいります。これは今後の売電収入を担保とし、国の全面的な保証が得られているからこそ実現するため、株主の皆様にご心配をお掛けすることは一切ありません。

今後とも、長期にわたって安定的な収益を生み出す事業として育てていきたいと考えています。

【保険代理事業】

年々厳しさを増す金融庁の規制にも
万全の対応。

(株)セントラルパートナーズによる保険代理店事業では、全国でもトップクラスの収益性、生産性を誇っています。平成26年4月に開設した新潟支店の業績も順調に推移しておりますが、これは専門部署を立ち上げて、契約成立率・継続率向上に取り組んできた結果であると考えます。

また、保険代理店事業においては、保険業法改正に伴い金融庁からの規制は年々厳しさを増しています。こうしたなかで当社は以前からコンプライアンスを重視するなど、保険代理店事業の規制強化を見越した社内での教育研修の徹底を図ってきました。

今後の課題の一つは人員の確保となりますが、雇用条件・体制の見直しを図り、従業員にとって働きやすく、魅力的な職場とするべく注力してまいります。

【葬祭事業】

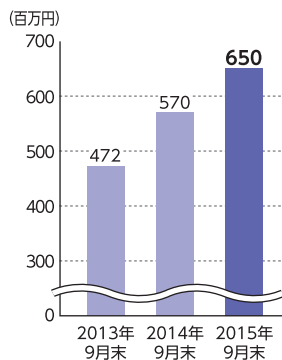
「地域密着」をテーマに、
地元住民の方々との信頼の絆を結ぶ。

葬儀会館「ティア」を運営するエスケーアイマネジメント(株)におきましては、合計5会館での展開となり、これまでの「ティアの会」の会員様獲得活動の成果もあり、黒字化を達成することができました。

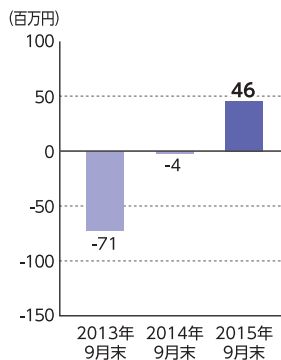
当社においては、売上至上主義に陥ることなく、「地域密着」を会館運営のテーマに掲げて、会館のある地元自治会、および地域行事への積極的な参加などを展開、地元住民の方々の信頼関係を築いてきました。グランドゴルフ大会など話題性のある企画は多くの方々に愛好され、人気を博しています。

また、葬儀の施行品質向上のため、社員には難関とされる厚生労働省認定の葬祭ディレクター1級資格の取得を奨励、すでに数名の合格者を輩出しています。

■ 葬祭事業売上高



■ 葬祭事業営業利益



株主・投資家の皆様へ。

昨期は、教育研修やコンプライアンスなど当社の地道な取り組みが功を奏して、次第に競合他社を圧倒し、これをもって、太陽光発電事業を除く事業での増収増益を実現するに至りました。このため配当を10円から15円へと増配。株主・投資家の皆様に還元させていただくこととなりました。

今後も、太陽光発電事業をはじめ、すべての事業が順調に推移するなか、配当はさらに増えていくものと確信しております。

株主・投資の皆様におかれましては、引き続き、当社の将来性、可能性にご期待をいただき、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

エスケーアイ岡崎発電所

平成25年11月14日付で開示いたしました「新たな事業の開始に関するお知らせ」のとおり、太陽光発電事業を進めておりますが、平成27年4月より愛知県岡崎市桑原町に第2号となります太陽光発電所「エスケーアイ岡崎発電所」が稼動を開始しました。





【エスケーアイ岡崎発電所の概要】

所在地：愛知県岡崎市桑原町奥入15
土地面積：16,000㎡
出力容量：約880kW
年間予想発電量：約1,375,888kWh/年(一般家庭約274世帯分)
売電開始日：平成27年4月6日

広島県東広島市における 新規メガソーラー発電施設の開設

太陽光発電所の地域・環境・設備規模等の諸条件を慎重に検討した結果、広島県東広島市でメガソーラー発電を行うことが経営上最適であると判断したため、新規にメガソーラー発電施設を開設することに決定しました。

【エスケーアイ東広島発電所の概要】

所在地：広島県東広島市黒瀬地区
土地面積：約175,000㎡
出力容量：約7.16MW
予定年間収入：378百万円
売電開始時期：平成30年4月(予定)

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 2015.9.30 現在	前期 2014.9.30 現在
【資産の部】		
流動資産	7,006,563	5,331,368
現金及び預金	3,391,676	2,034,932
売掛金	2,113,667	2,143,575
商品	1,247,314	928,803
繰延税金資産	77,619	73,044
その他	176,286	151,012
固定資産	6,567,234	4,310,864
有形固定資産	4,548,910	3,140,585
建物・土地・構築物	3,125,080	2,858,518
機械装置・運搬具	434,963	237,896
その他	988,866	44,169
無形固定資産	240,391	78,887
投資その他の資産	1,777,932	1,091,392
投資有価証券	1,041,869	672,721
差入保証金	310,328	260,896
その他	425,734	157,774
資産合計	13,573,797	9,642,233

科目	当期 2015.9.30 現在	前期 2014.9.30 現在
【負債の部】		
流動負債	6,006,382	4,249,843
買掛金	1,707,175	1,550,145
短期借入金	3,115,000	1,540,000
1年以内償還予定社債	180,000	140,000
1年以内返済予定長期借入金	240,060	154,032
その他	764,147	865,666
固定負債	3,472,605	1,908,510
社債	510,000	90,000
長期借入金	2,113,353	1,227,013
その他	849,252	591,497
負債合計	9,478,988	6,158,354
【純資産の部】		
株主資本	3,277,018	2,986,322
資本金	729,364	729,364
資本剰余金	666,862	666,862
利益剰余金	1,880,818	1,590,122
自己株式	△26	△26
その他の包括利益累計額	557,002	299,145
少数株主持分	239,540	198,410
新株予約権	21,247	0
純資産合計	4,094,809	3,483,878
負債純資産合計	13,573,797	9,642,233

連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 2014.10~2015.9	前期 2013.10~2014.9
売上高	17,019,764	16,258,866
売上原価	12,290,509	11,742,064
売上総利益	4,729,255	4,516,801
販売費及び一般管理費	3,977,537	3,977,191
営業利益	751,717	539,610
営業外収益	67,659	51,652
営業外費用	69,811	34,556
経常利益	749,565	556,706
特別利益	6,471	262,867
特別損失	32,575	20,257
税金等調整前当期純利益	723,460	799,316
法人税・住民税及び事業税	167,641	303,536
法人税等調整額	109,299	98,810
少数株主損益	47,260	33,587
当期純利益	399,260	363,381

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期 2014.10~2015.9	前期 2013.10~2014.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	345,508	248,726
税金等調整前当期純利益	723,460	799,316
減価償却費	194,857	204,333
売上債権の増減額(△:増加額)	29,907	△708,444
たな卸資産の増減額(△:増加額)	△319,178	△28,552
仕入債務の増減額(△:減少額)	157,030	531,529
その他	△440,569	△549,456
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,853,932	436,570
有形固定資産の取得による支出	△1,587,477	△647,510
その他	△266,454	1,084,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,867,523	△522,186
短期借入金の純増減額(△:純減少額)	1,575,000	290,000
その他	1,292,523	△812,186
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,388	0
現金及び現金同等物の増減額(△:減少額)	1,356,711	163,110
現金及び現金同等物の期首残高	1,872,977	1,709,866
現金及び現金同等物の期末残高	3,229,688	1,872,977

連結財務諸表

連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

2014.10~2015.9	株主資本					その他の包括利益累計額 その他の有価証券評価差額金	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
2014年10月1日残高	729,364	666,862	1,590,122	△26	2,986,322	299,145	-	198,410	3,483,878
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△108,563		△108,563				△108,563
当期純利益			399,260		399,260				399,260
株主資本以外の項目の当期変動額等(純額)					-	257,857	21,247	41,129	320,234
連結会計年度中の変動額合計	-	-	290,696	-	290,696	257,857	21,247	41,129	610,930
2015年9月30日残高	729,364	666,862	1,880,818	△26	3,277,018	557,002	21,247	239,540	4,094,809

単体財務諸表

単体貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 2015.9.30 現在	前期 2014.9.30 現在
【資産の部】		
流動資産	5,623,698	4,076,091
固定資産	6,033,823	3,760,138
有形固定資産	2,942,842	1,529,195
無形固定資産	215,180	32,880
投資その他の資産	2,875,800	2,198,062
資産合計	11,657,521	7,836,229
【負債・純資産の部】		
流動負債	5,555,815	3,903,443
固定負債	2,324,537	586,755
負債合計	7,880,353	4,490,199
純資産合計	3,777,168	3,346,030
負債純資産合計	11,657,521	7,836,229

単体損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 2014.10~2015.9	前期 2013.10~2014.9
売上高	15,061,536	14,405,743
売上原価	12,000,263	11,492,635
売上総利益	3,061,273	2,913,108
販売費及び一般管理費	2,562,863	2,545,605
営業利益	498,409	367,502
経常利益	489,416	401,089
税引前当期純利益	463,311	400,329
法人税・住民税及び事業税	70,700	124,334
法人税等調整額	132,332	95,896
法人税等合計	203,032	220,231
当期純利益	260,279	180,098

会社情報

(2015年9月30日現在)

会社概要

会社名	株式会社エスケーアイ	
主な事業内容	携帯電話販売	
本社	愛知県名古屋市中区千代田五丁目21番20号	
関東支社	神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目8番11号 KDX新横浜381ビル3F	
設立	1991年3月	
資本金	7億2,936万円	
社員数	正社員	281名
	契約社員	62名
役員	代表取締役社長	酒井昌也
	専務取締役	酒井俊光
	常務取締役	田川正彦
	取締役	小島浩司
	常勤監査役	堀井潤子
	監査役	浅井一郎
	監査役	長谷川直人
IR連絡先	IR・広報グループ TEL 052-262-4748 e-mail ir@ski-net.co.jp	
URL	http://www.ski-net.co.jp	

株式情報

(2015年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	10,856,500株
株主数	1,587名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社サカイ	2,353,000	21.67
株式会社光通信	2,126,000	19.58
酒井俊光	749,000	6.89
VTホールディングス株式会社	635,200	5.85
ソフトバンク株式会社	450,000	4.14
酒井昌也	323,000	2.97
肥田貴将	282,000	2.59
アイデン株式会社	258,500	2.38
エスケーアイ従業員持株会	226,300	2.08
肥田由美子	188,000	1.73

(注)持株比率は自己株式(117株)を控除して計算しております。

優待案内

当社は株主の皆様への利益還元の一つとして株主優待を実施しております。

【携帯電話ご購入の割引】

	株主優待券 額面3,000円
500株以上	1枚
2,000株以上	2枚
5,000株以上	5枚

優待券は携帯電話新規ご購入、機種変更の際に3,000円の割引券として、当社直営全店でご利用になれます。尚、優待券のご利用に代えて、「社会福祉法人日本介助犬協会」、医療機関及び児童施設等への寄付をご選択いただけます。

(2016年9月末までに優待券をご返送いただいた株主様を対象)



株主メモ

決 算 期	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年12月に開催
基 準 日	毎年9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒103-0027 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社本店
貸借対照表および 損益計算書のホーム ページアドレス	http://www.ski-net.co.jp/ir_news/balance_sheet.php

株式会社エスケーアイ

〒460-0012 名古屋市中区千代田五丁目21番20号

TEL.052-262-4499 FAX.052-262-1914

<http://www.ski-net.co.jp>